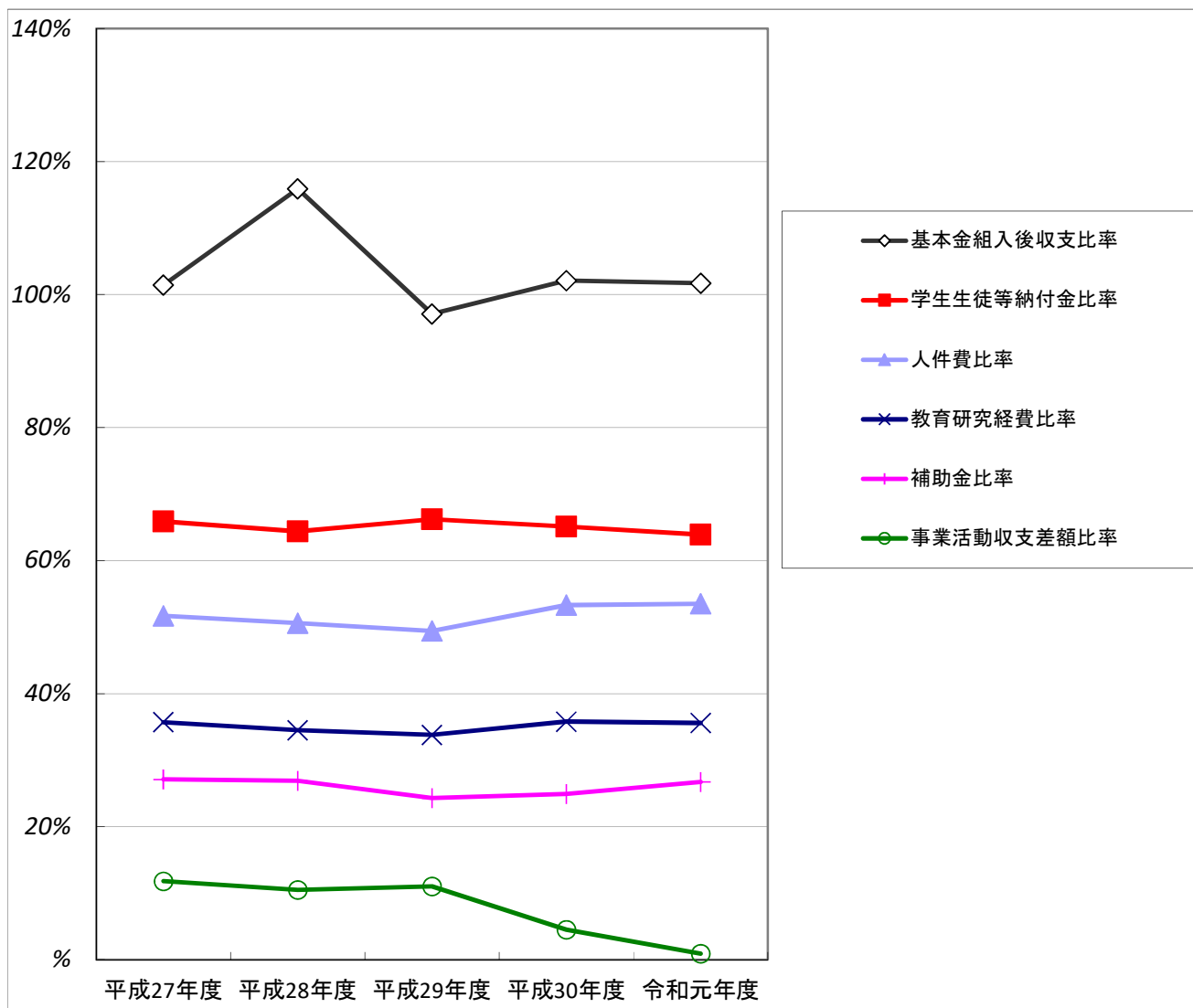


—主要財務比率の推移—



<参考>経営分析指標

基本金組入後収支比率	事業活動収入から基本金組入額を控除した額した額に対する事業活動支出が占める割合 ※この比率が100%を超えると、支出超過となり、100%未満であると収入超過となる。
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合 ※事業活動収入の中で最大の比重を占め、補助金や寄付金と比べて第三者の意向に左右されることの少ない重要な自己財源となっている。安定的に推移することが望ましい。
人件費比率	人件費の経常収入に占める割合 ※人件費が事業活動支出の中で最大の割合を占めており、重要な比率である。
教育研究経費比率	教育研究経費の経常収入に占める割合 ※教育研究活動の維持・充実のため不可欠なものであり、この比率も収支均衡を失しない範囲内で高くなることが望ましい。
補助金比率	補助金の事業活動収入に占める割合 ※補助金は学生生徒納付金に次ぐ第二の財源であり、この比率は高いほど望ましい。
事業活動収支差額比率	事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合 ※この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕につながるものである。このプラスの範囲内で基本金組入額が収まっていれば当年度の収支差額は収入超過となり、逆にプラス分を超えた場合は支出超過となる。